

ニュージーランド 海外研修旅行について



校長 須賀 淳

ニュージーランドは、イギリス連邦に属する独立国の一つで、オーストラリア東方の南太平洋にあります。二つの大きな島とその周辺の小さな島々からなり、面積は日本の七〇%、本州と九州を合わせたくらいの大さきです。わが国でもポリネシア文化を通じて広く知られていますが、宇都宮市では同国のマヌカウ市と早くから姉妹都市の関係にあります。

本校でもこのたび、国際

手をつなごう、世界の友と

ホーウィック校と縁結び 本校から海外研修団が訪問



姉妹校提携のサインをする須賀校長先生とホーウィック・カレッジの校長先生

「手をつなごう、世界の友と」をスローガンに本校ではこのほど、宇都宮市と姉妹都市にあるニュージーランド・マヌカウ市のホーウィック・カレッジと姉妹校の縁結びを行いました。また、これを機会に本校からは須賀校長先生はじめ職員生徒二十三人からなる第一回ニュージーランド海外研修団が現地を訪れホームステイによって交流の成果を収めました。今後は両校の研修団の交換を通して、教育、文化、スポーツなどの各方面にわたり親密な交流をはかり友好関係を築くことになっております。

姉妹校の締結とホームステイによる交流及び語学の研修を目的とした研修団の一行は須賀校長先生をはじめ、江川利春、木嶋侯子両先生と杉本和也君（普通科）ら計二十三人で、七月二十日午後八時に成田の新東京国際空港を出発し、十三時間の空の旅にも関わらず一平気で現地の人々に大へん良い印象を与えました。



発行所
宇都宮短期大学附属高校
編集委員会
宇都宮市睦町1番35号
印刷所
坂本共栄社印刷所

姉妹校提携 特集集号

さっそく宿舎の、日本語を勉強しているカレッジの生徒の家庭二十軒に、一人ずつお世話になり、日程が始まりました。

今回の最大の行事であり、姉妹校提携式では二十四日、カレッジ内で須賀校長先生とD・G・インハム校長先生とが「姉妹校提携盟約書」(別掲)と英文二通それぞれに署名を行い、無事終了しました。そのあと須賀校長先生は流暢な英語であいさつし、会場から盛んな拍手を浴びました。

研修団の生徒たちは、一日三時間ずつ五日間にわたって、カレッジの近くのオークランド・イングリッシュ・アカデミーで英語の研修を受けましたが、覚えた英語がすぐ役立つのですから皆さん一生懸命で、収穫が大きかったようです。

また滞在中はマヌカウ市長の歓迎レセプションや姉妹校との文化やスポーツの交流、さらに市内外の観光など大忙しのスケジュールで、あつという間の十三日間でした。

とくに、あたたかく、心から迎えてくださったホーミステイの家族の方々は、いつまでも心の中に残り、涙ながらにお別れをして八月一日帰国いたしました。

参加者にとっては一生忘れられない貴重な体験となりましたが、来年はまた多くのの方々の参加を望みます。



出発前に、増山宇都宮市長からマヌカウ市長と握手を交わす須賀校長先生

積極的に交流を 上野 健君(普通科)の 話

ニュージーランドの人たちはとても親切で、いたらない僕の英語でも真剣に聞いてくれ、誠意があれば通じるものだと思いました。日本には「沈黙は金なり」という格言がありますが、あちらでは積極的にコミュニケーションをはかっていくことの大切さを体験しました。

この体験を 大切に

国近久美子さん(普通科)の話
ホームステイで、家族の方々が私にくださったあんな大きな愛情は一生忘れられません。その恩返しができるように、今回得た体験を私の財産として大切にしていきたいと思っています。

また、来年はあちらから多数のお友だちが来られるのを待ちたいです。

ホーウィックカレッジの概要

ニュージーランド、ホーウィック、スタンドスピットロードにあるホーウィックカレッジは、生徒数一二四〇名、教職員数七〇名からなる十三歳(サードフォーム)から十七歳(セブンスフォーム)までの生徒が通う学校で、教育信条は次のような生徒を育成することにある。

- (1) 学業は勿論のこと学校生活全般にわたり、何事も真剣にできるような生徒。
- (2) 自分自身や他人を尊敬し、学校や地域社会に誇りを持てるような生徒。
- (3) 自分の意志や将来の選択を明確に表現するなど、自主性豊かな生徒。

姉妹校提携 盟約書

(内容)

われわれは、両校において将来望まれる国際人を育てていくことが、両校ならびにすでに姉妹都市関係にあるマヌカウ市と宇都宮市の友好親善、ひいてはさらに広範な国際理解と友情に貢献するものと確信する。よって、ここに両校は姉妹校として提携することを宣言し、両校を代表してここに署名する。

一九九〇年七月二十四日

ホーウィックカレッジ校長 D・G・インハム
宇都宮短期大学附属高等学校校長 須賀 淳



13時間の空の旅をおえて、やっとホーウィック・カレッジに到着

校内球 大会行わる

七月九日から十二日までの四日間にわたって恒例の校内球技大会が行われました。とくに二日目は会場を県運動公園の総合グラウンドに移して、野球、サッカー、テニス、バドミントンの四種目に熱戦が繰りひろげられました。

各種目の優勝は次のとおりです。

(バスケットボール)
男子二年一・三組(合同チーム)、女子三年八組(バレーボール)
男子三年十六組、女子三年八組(テニス)

参加者生徒

今年で創立九十周年を迎える本校では、十一月二日午前十三時三十分から須賀栄子記念講堂大ホールで盛大に記念式典を行います。

また、三日(文化の日)四日(日曜日)の連休を利用して学校祭を開催します。今回の学校祭スローガンは「歴史に残せ 今この一瞬」が多数の中から選ばれました。ご家族の皆さまやお友だちをお誘い合わせの上、お出かけください。

今年で創立九十周年を迎える本校では、十一月二日午前十三時三十分から須賀栄子記念講堂大ホールで盛大に記念式典を行います。

また、三日(文化の日)四日(日曜日)の連休を利用して学校祭を開催します。今回の学校祭スローガンは「歴史に残せ 今この一瞬」が多数の中から選ばれました。ご家族の皆さまやお友だちをお誘い合わせの上、お出かけください。

(卓球)
男子三年十六組、女子二年七・八組(合同チーム)

(バドミントン)
男子長島・大柿組、女子三年十五組

(バスケットボール)
男子三年十六組、女子二年七・八組(合同チーム)

(サッカー)
A三年四・五・六組(A) B三年十五組

(水泳)
男子三年八・九・十組(合同チーム) 女子二年一・三組(合同チーム)

姉妹校提携式における須賀校長あいさつ

Mr. Principal, each staff member and student at Howick College, nice to meet you. My name is Atsushi Suka. I am the principal of Utsunomiya Junior College High School which is located in Utsunomiya City, the Sister City of Manukau. My school is a private and co-educational junior and senior high school, founded 90 years ago. In my school, there are about 2,500 students and they study English, Home Economics, Commerce, Cooking and Music. The guiding principle of the school life is that, one student's behavior stands for all the other students'. Keeping this belief in their minds, students enjoy their happy school life.

I am fortunate enough to be paying my first visit to your delightful country. It is a great honor for me to meet you and have a warm welcome. I am fascinated by the beautiful sceneries in your country. I have no problems living here, because everyone I meet is very friendly. I am sure I will enjoy the rest of my stay in New Zealand.

By the way, I should mention that the main purpose of my visit to New Zealand is to link up with your school on a permanent basis. I am now very pleased that I have done my duty. My students understand the meaning of this trip sufficiently and are eager to learn your culture and way of life. I believe that this Sister School Agreement will promote deep friendly relations between New Zealand and Japan.

This is really an international age. To my school, many foreign students come every year and they have been learning Japanese culture and way of Japanese life. How nice to see young people growing up in an international atmosphere with proper qualities which are indispensable for the 21st century. Your students will visit my school next year, which I'm looking forward to.

A small present from Japan is this traditional paper folk craft called Shimotsuke-Hitogata, which is made in Utsunomiya City. On the face there are no eyebrows, eyes, nose or mouth. But it sometimes looks angry and at another time it looks as if it was smiling gently. It is just a simple doll. Please cherish it for a long time.

Now I would like to close my speech by saying this. I will continue traveling throughout your country and gather many sweet memories. I hope I will get a deeper knowledge of international understanding through such a wonderful experience as meeting, talking and making contact with many people. I also believe that New Zealand and Japan will grow closer together in mutual understanding and partnership. Mr. Principal, staff members, students, thank you for your kind invitation and hospitality. I wish you all every happiness and success in your life. Thank you.

ホーウィックカレッジの校長先生からのお便り

31 July 1990

Mr Suka
Principal
Utsunomiya Junior College High School
Utsunomiya
JAPAN

Dear Mr Suka

Last evening we said goodbye to the students and teachers from your College at a Sayonara dinner which was both happy and sad-happy because this was the culmination of what I believe has been a great week for us all, and sad because we were saying goodbye to new friends. The evening was a perfect example of what the agreement between our two schools describes.

Mr Egawa made an excellent speech of thanks and farewell and it was great to see your students so relaxed and happy with their host families. We would both remember how reserved and apprehensive they were only a week earlier when we first met. You can be very proud of your young people. Already our students are talking about visiting your school in 1991.

I was particularly delighted that you were able to spend a few days with us yourself. It was an honour to have you in our school.

Best wishes for the remainder of this year. We look forward to our first visit to your school in ten months' time.

Yours faithfully

D G INGHAM
Principal

思い出のスナップ

⇒ 持参したおみやげの日本人形をプレゼント



ホームステイの家族の人たちと団らんひととき
⇒ オークランド・イングリッシュ・アカデミーで語学研修を終え、修了証書を受けて記念撮影

⇒ ホーウィック・カレッジの生徒たちと一緒に体育館でイチニ、イチニニ



⇒ マヌカウ市長主催の歓迎会で、ホーウィック・カレッジの小中学生による歓迎アトラクション



⇒ 文化交流会で日光和楽踊りを披露して盛大な拍手をうける



⇒ ホーウィックカレッジからおみやげにいただいた民芸品

編集後記

国際化の時代を迎えて、世界の友と手をつなごうと本校とホーウィックカレッジとの姉妹校提携を機会に現地を訪れて、十数日間に及ぶホームステイと語学研修を行ってきた研修団の様子を写真でお伝えします。(カメラ・研修団の皆さん)

「若鮎」15号をお届けいたします。今回はホーウィックカレッジとの姉妹校提携特集号といたしました。初めて英文も掲載いたしました。英語の勉強をかねて読んでください。また研修旅行に参加された皆さんから多数お写真をお借りして紙面を飾らせていただきました。お礼申し上げます。(編集委員長・見形貴大)